

## 大学院学生

昭和60年度京都大学理学研究科動物学専攻霊長類分科の学生と、それぞれの研究テーマは次のとおりであった。

氏名	学年	指導教官	研究テーマ
星野次郎	D 6	河合雅雄	マンドリルの生態学的研究
宮藤浩子	D 5	河合雅雄	ニホンザルメスの社会的発達
名取真人	D 4	江原昭善	歯の形態に基づくマーマセツ科の系統関係の解析
広谷 彰	D 3	河合雅雄	トナカイ牧畜民の研究
三谷雅純	D 3	河合雅雄	西アフリカにおける樹上性霊長類の生態学的及びコミュニケーション論的研究
大井 徹	D 2	川村俊蔵	スマトラのブタオザルの社会生態学的研究
沢口俊之	D 2	久保田競	前頭前野における伝達物質の役割と機能的層構築
吉久保真一	D 2	室伏靖子	霊長類の種の認知に関する行動実験的研究
早坂謙二	D 1	野沢 謙	霊長類におけるミトコンドリアDNA多型解析
村山裕一	D 1	竹中 修	ニホンザルリンパ球に対するモノクローナル抗体の作製及び霊長類の免疫学的特性の解析
Solomom Yirga	D 1	江原昭善	狭鼻猿類の下肢諸骨の機能形態学に基づく分類
板倉昭二	M 2	室伏靖子	ニホンザルにおける鏡の使用と自己認知
五百部裕	M 2	河合雅雄	ニホンザルの採食行動の社会学的研究
中川尚史	M 2	河合雅雄	ニホンザルの採食及び遊動に関する研究

佐倉 統	M 1	河合雅雄	ニホンザルの音声コミュニケーション及び繁殖戦略の行動生態学的研究
伏見貴夫	M 1	室伏靖子	霊長類のコミュニケーションに関する実験的研究。
室山泰之	M 1	河合雅雄	ニホンザルのグルーミング行動に関する社会生態学的研究

## 研 修 員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
藤田和生	室伏靖子	霊長類の種の認知に関する実験的研究	60.4.1 ～60.9.30
瀬戸口 美恵子	川村俊蔵	哺乳類特にタイワンリスの社会生活について	59.8.1. ～61.7.31
田中 進	川村俊蔵	タイワンザルの社会生態学的研究	60.5.16 ～60.11.15
星野次郎	河合雅雄	西アフリカ、カメルーン国におけるマンドリルの社会生態学的研究	60.8.1 ～61.7.31
竹中晃子	竹中 修	マカカ属の系統とヘモグロビンの構造	59.8.1 ～60.7.31
松本 真	江原昭善	ヒトおよび霊長類の形態学的研究	60.4.1 ～61.3.31
松村博文	江原昭善	ヒトを中心とした霊長類の系統分類学的研究	60.4.1 ～61.3.31
鶴殿俊史	松林清明	チンパンジー精液の凍結保存法に関する研究	60.1.10 ～60.4.9

## 日本学術振興会特別研究員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
藤田和生	室伏靖子	霊長類における 種の認知の発達 とその規定因	60.10.1 ～62.3.31

## 所内談話会記録

第1回：5月22日(水)

Chase, S (ニューヨーク市立大学・心理) :  
ヒト, サル, コンピューターの知覚判断

第2回：6月26日(水)

松波謙一(京大・霊長研) : デオキシゲルコース法について

第3回：7月31日(水)

渡辺邦夫(京大・霊長研) : 幸島のニホンザルの33年

第4回：8月9日(金)

Francoise, K. Jouffroy(自然史博物館・パリ・比較解剖) : Various approaches to non-human primate locomotion. Frederick S. Szalay (アメリカ自然史博物館) : *Oreopithecus* をめぐる問題点。

第5回：9月25日(水)

野崎真澄(京大・霊長研) : ニホンザルの繁殖リズムの内分泌調節機序

第6回：10月30日(水)

瀬戸口烈司(京大・霊長研) : 南米ザルの化石 "Kondous" について

第7回：12月18日(水)

相見 満(京大・霊長研) : 東南アジアのコノハザルを求めて

第8回：1月29日(水)

大沢秀行(京大・霊長研) : チャド湖畔のパタスモンキー

公開講座「サルの生物学」が、昭和60年8月5日(月)と6日(火)の両日、国民年金保養センター「サンパーク 犬山」にて開催された。講師および講演内容は次の通りであった。

8月5日(月)

河合雅雄：サルの社会学

岩本光雄：サルの形態学

岩本光雄：解剖実習A

8月6日(火)

室伏靖子：サルの心理学

久保田競：サルの神経系の生理学

久保田競：解剖実習B